

「もうすぐ会えるね赤ちゃん」

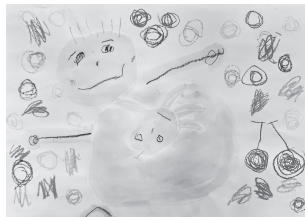
土屋 結愛（つちや ゆの） 4歳

教宗寺保育園（長崎教区）

●表紙のことば●

お母さんの大きなお腹の中に赤ちゃんが横たわっています。お母さんの表情は、とても優しい笑顔で描かれています。「もうすぐ会えるんだよ」と期待に胸を膨らませ、まだ見ぬ妹の姿を想像しながら、満面の笑みで描き進めたそうです。周りには自分のお気に入りを選び、赤ちゃんにプレゼントしたい花やさくらんぼなどを描いています。妹が産まれてくるのを心待ちにしている結愛さんの気持ちが、とてもよく表現されています。

この作品の見どころは、なんといつでも、妹が産まれてくること、そしてお姉ちゃんになるんだという期待と意欲を絵に描いて伝えていることです。そして、お腹の中の赤ちゃんの存在をこの時期の子ども特有のレントゲン描法で描き出している想像力と表現力です。おそらく、先生が溶いた絵の具で最後に彩色したのでしょうが、大切なことは、概念的なペールオレンジによる人物表現ではなく、クレヨンで描ききった絵から聞こえてくる「おはなし」なのです。



おお はし いさお
大橋 功

和歌山信愛大学